

CLINICAL REPORT 2022



関西医科大学附属病院
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

脳神経内科

主任教授

薬師寺 祐介 脳血管障害、認知症疾患

病院教授

金子 鋭 神経変性疾患

准教授

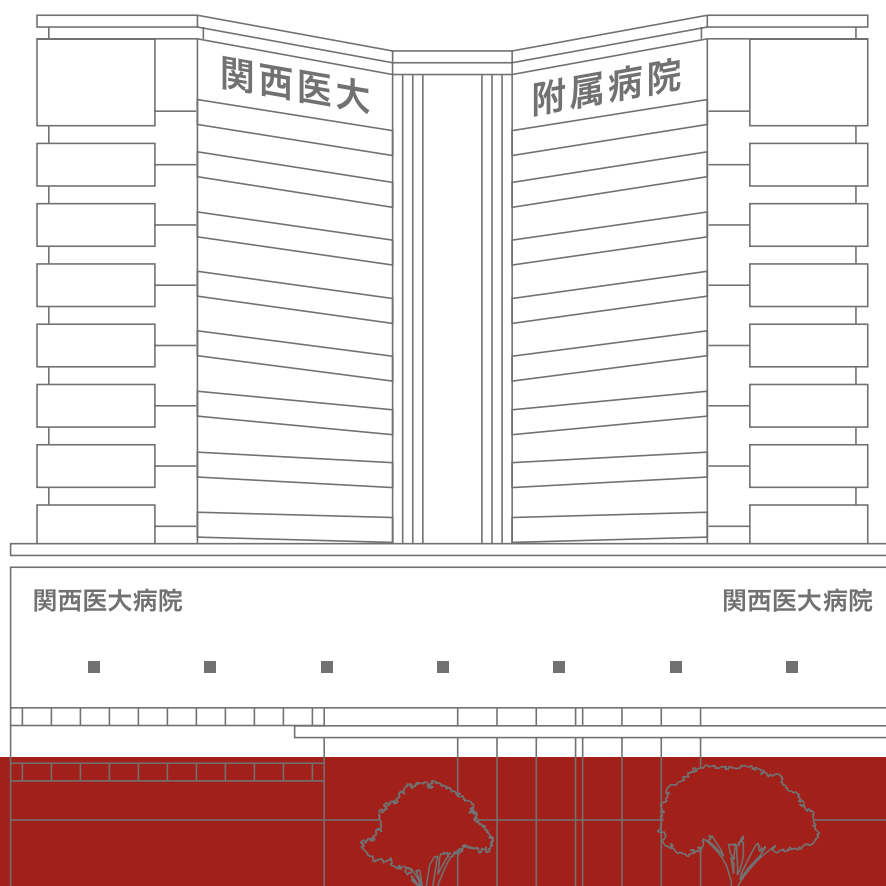
竹之内 徳博 HTLV-1関連脊髄症

病院准教授

國枝 武伸 脳血管障害

講師

中村 正孝 神経変性疾患



診療実績 (2021年度)

外来新患者数	1,225人	入院新患者数	536人
外来延患者数	15,242人	入院延患者数	7,556人
脳血管障害	780人	脳血管障害	203人
・パーキンソン病	141人	・パーキンソン病	13人
・パーキンソン症候群	189人	・パーキンソン症候群	39人
・運動ニューロン疾患	36人	・運動ニューロン疾患	24人
・末梢神経障害(CIDP、GBS、MMN)	39人	・末梢神経障害(CIDP、GBS、MMN)	11人
物忘れ外来		HAM外来	
新患者数	49人	実患者数	37人
延患者数(新患+再診とした場合)	137人	延患者数	137人
筋生検(手術)	6件	核医学検査	
神経生検	1件	ドパミントランスポーターシンチ	122件
MRI検査		パーキンソンMIBG	52件
胸椎	51件	全身FDG-PET	1件
頸椎	120件	全身Gaシンチ	5件
頸部MRA(動脈)	296件	脳血流ECD	64件
腰仙椎	50件	脳血流IMP	43件
上腕部	9件	脳血流IMP安+負荷	14件
頭部MRA(動脈)	1,049件	CT検査(延人数)	1,041件
脳	430件	生理機能検査	
		覚醒脳波	163件
		心臓超音波	220件
		頸動脈超音波	204件
		筋電図検査	230件

治療成績 (2021年度)

脳卒中		ボトックス外来	
tPA静注療法	23件	頸動脈ステント留置術	11件
血栓回収療法	13件	実患者数	129人
		延患者数	470人

診療アウトライン

当科では、当院が大阪府の難病診療連携拠点病院に指定されたこともあり、パーキンソン病を含む多くの神経・筋難病の診療に積極的に取り組み、早期診断・治療・療養支援を提供しています。脳卒中診療としては、脳神経血管内治療専門医1名を擁し、救急医学科・脳神経外科と共同で脳卒中センターを運営し、虚血性脳卒中の超急性期治療(血栓溶解療法や血管内治療による血栓回収療法)を365日24時間体制で行っています。他、ギランバレー症候群・脳炎・てんかんなど脳神経系救急疾患の常時受け入れも行っていきます。また、全国で数力所しかないHTLV-1関連脊髄症の専門外来を有するとともに、ボツリヌス療法も脳梗塞後遺症、眼瞼・顔面けいれんに対して行っていきます。

トピックス

神経内科は脳神経内科に変わりました

2018年3月に日本神経学会から、標榜診療科名を「神経内科」から「脳神経内科」へ変更する旨の発表がなされ、それに伴い当院も診療科名を変更しております。

■脳梗塞

発症から数時間以内であれば、詰まった脳の血管内の血栓を溶かして血流が再開すれば、症状が回復する可能性があります。再開通治療には血栓溶解薬(tPA)の点滴治療とカテーテルによる脳血管内治療があります。発症から4.5時間以内である方にはtPAの点滴治療を、tPAの適応がない症例で発症から8時間以内で各条件が合致する方には脳血管内治療を行っています。



■ボツクス治療

脳卒中後遺症の一つに「痙縮」という症状があります。筋肉の緊張が高まり過ぎることで、手足が動かしくかたたり勝手に動いてしまう状態のことです。この筋肉の緊張を緩める治療がボツリヌス療法です。ボツリヌス毒素を局所の筋に注射すると数日～2週間で効果が現れ、通常3～4ヶ月持続します。その後、徐々に効果は消失していきますが、再度注射することにより同様の効果を得ることができます。

■HAM外来

指定難病であるHAM患者の近畿地区での集約を図っています。疾患の活動性を図るバイオマーカーの測定は保険診療外ですが、当院では研究室で測定を行うことでそれを補い、より正確な診断・治療を行うことが可能となっています。また、標準化された診断・治療は全国的にも浸透していないので、ガイドラインの作成に貢献・啓蒙を行っています。他地域の拠点病院と連携し、新規治療法の研究開発を行っており、新規リハビリテーション法(ロボットスーツHAL)の治験へ患者さんの紹介・登録を行っています。

■筋電図外来

末梢神経疾患、筋疾患、運動ニューロン疾患等の診断目的に、神経伝導速度、針筋電図を週3日行っています。6月から、本邦の筋電図検査の権威である幸原伸夫先生(関西医科大学整形外科学長特任教授)の指導の下、さらなる診断制度向上に努めています。紹介の際はまず脳神経内科外来宛にお願いします。

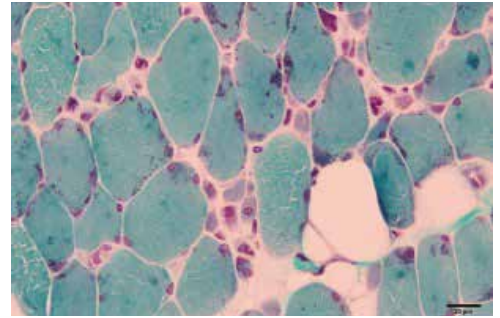


筋電図外来の様様

トピックス

■筋生検

筋疾患の鑑別目的に、脳神経内科医自らが採取する適切な筋を選択し、一部の筋を採取し、必要な染色を行うといった一連の操作を行っています。



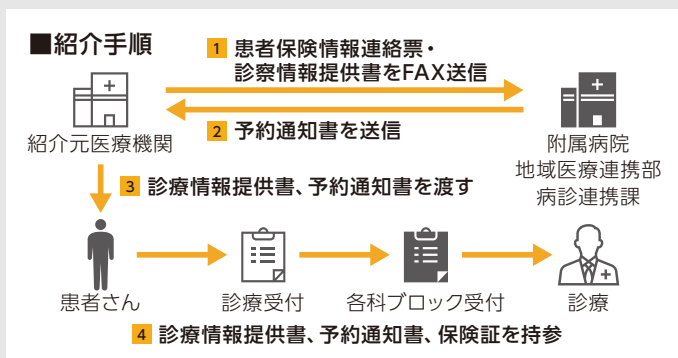
■物忘れ外来

2020年から脳神経内科も物忘れ外来の担当に加わりました。2021年からは3名体制で週1回(月曜日午後)行っています。

認知症の疑い患者を適切に診断し、地域での介護環境整備の後、かかりつけ医での治療継続につないで参ります。



患者さんの紹介について



- 1 患者保険情報連絡票・診療情報提供書にご記入いただき、FAX【072-804-2861】にて送信していただけます。
- 2 送信いただいた患者保険情報をもとに当院の患者IDを作成。予約をお取りして予約通知書を送ります。
- 3 患者さんに診療情報提供書と予約通知書をお渡しください。
- 4 患者さんは診療情報提供書・予約通知書・保険証を持って、予約時間の20分前までに総合受付の【地域医療連携窓口】にお越しいただけます。

※診療科、診療日、医師の指定がある場合は、FAXにご記入ください。

※用紙請求については当院ホームページよりダウンロードいただくか、下部の連絡先にご連絡いただけますようお願いいたします。

※受付時間 平日 8:30~20:00/土曜日 8:30~12:30